

※ 外部意見の反映

幕別町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の報告書に対する主な意見

本報告書を作成するにあたり、点検及び評価の客観性を確保する観点から、知見の活用として町長部局の部長職等から聴取した主な意見は次のとおりである。

- 生涯学習講座が学習ニーズにあわせて開設する取組みは大いに評価できる。今後一層地域住民の多様な要望把握のための工夫が望まれ、そのためこれまでの広報やホームページの活用はもとより、より積極的な地域の集まりや地域老人会、文化団体等との交流を通して多様化を図るなど地域づくりの視点で対応することを検討すべき時期と思われる。
- リーダー育成のため様々な取組みがなされており、生涯学習社会における進化の過程が進んでいることは大変評価できる。
- お年寄りから子どもまで各階層に対応した生涯学習への取組み状況がよくわかる点検・評価となっている。
- まくべつ教育の日に対する取組みは、全道市町村の取組みに大きな影響を与えているが、各学校と地域の一層ユニークな取組みを通し、地域の活性化を図っていく方向性を持ちたいところである。学校・地域・家庭が一体となって子どもの育成に取り組む姿が読み取れる。
- 「学び隊」の取組みも一地域(学校)が増え、取組みの成果が見られることは喜ばしいことである。「学び隊」のスタッフの固定化(教職経験者のみ)は理解できるが、次を見つめていく取組みが新たな芽を育てるものと考えられる。
- 幼児教育の充実に関して、幕別町の教育の発展のために、まず幼児教育の充実が重要であると考えます。特別支援教育に関する相談事業や啓発事業を主要施策として明確にし、それへの評価が出されると良いと思います。その評価が小・中・高へと繋がっていくものと考えます。
- 各事業の評価について、例えば年度の重要事業に指定した事業等については、当該の機関(学校、施設、団体等)からの内部評価(成果)を求めてもいいと思います。そうした評価の積み上げを分析し、今後の事業のあり方(事業継続かどうかも含めて)を検討して良いと思います。